

みどりの推進課報告事項(1月)

平成こども塾プログラム

平成31年1月20日現在

No.	日(曜日)		プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	6	日	お正月遊び	50人 (保護者含む)	20	19	4	
2	12	土	鏡開き	こどもファーム 45人＋一般募 集20人(ともに 保護者含む)	32	32	6	
3	13	日	暮らしの道具作りと料理教室 「山椒のすりこぎとごま団子作り」	年間会員28	21	19	3	
4	14	月	キッズ放送隊 「ラジオ出演」パルティセと	年間会員16	11	8	1	
5	19	土	豆腐作り	40人 (保護者含む)	18	17	5	
6	19	土	ネイチャーゲーム(最終回) 「木と友だちになろう」	年間会員19	14	12	4	
7	24	木	里山を考えるワークショップ	なし				
8	26	土	こどもファーム	年間会員35				

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	16日(水)～18日(金)	南小3年 おこしもの	117	7	
2	24日(木)～25日(金)	東小3年 五平餅			
3	31日(木)	北小3年 おこしもの			

平成30年度平成こども塾事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	学校連携プログラム実施事業	現在の生活の中では、児童同士や世代を超えたコミュニケーションが難しくなっている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (学校連携プログラム数:全67回)	・チームによる活動を重視し、共同作業・助け合いを行うことによりコミュニケーション能力を高める。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施する。	南小3年おこしもの作りは、講師の話をよく理解し、各班内で協力して作業をすすめることができた。 (東小3年1月24、25日五平餅分と北小3年おこしもの作り分については回答待ち) 満足度 96.1%													
						事前打ち合わせ		学校連携プログラムの実施		現職教育研修		学校連携プログラムの実施				学校連携プログラムの実施	次年度実施内容・日程等調整	
2	サポータープログラム実施事業	自然体験活動や地域の伝統文化を体験する機会が減っている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (サポーター隊委託プログラム、サポーター自主プログラム数:110回)	・体験プログラムを班分け時に工夫し、異年齢交流の促進を図る。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施した。	・サポーター隊こどもファームについては、収穫物はあるものの、定期的に草取りや圃場整備等の地味な内容が多いだけにアンケートでは「良かった」以下の回答が散見された。 ・講師に任せきりにならないよう、職員も子どもの観察・見守りを行った。 満足度 97.7%													
						世話人会				プログラムの実施								
										世話人会								
3	サポート隊員育成事業	サポート隊員の後継者が育っておらず、高齢化が進んでいる。	新規加入者2名を目指す。	・今期からサポート隊に加入した小林稔氏が、積極的に次回以後の「星空のプログラム」を提案してくれている。 ・「里山活動を考えるワークショップ」での勧誘(5回予定) ・口コミ勧誘の継続	・「里山活動を考えるワークショップ」と協働し、参加者をこども塾の活動に勧誘する。 ・荒木氏と浅井氏がサポート隊に継続加入している。					里山活動を考えるW.S.								
						大学生男子:プログラム内容を検討				サポート隊活動を体験								
												大人プログラム実施						